

「第 12 回北東アジア OSS 推進フォーラム」を開催

日本 OSS 推進フォーラム（代表幹事：株式会社エヌ・ティ・ティ・データ 代表取締役常務執行役員 栗島 聡）は、「第 12 回北東アジア OSS 推進フォーラム」を、2013 年 11 月 19 日（火）～20 日（水）にパラダイスホテル（韓国釜山市）において開催しました。日本・中国・韓国の産業界、研究機関、大学、政府関係者等より約 110 名の参加がありました。次回フォーラムは、2014 年に中国で開催することが合意されました。

北東アジア OSS 推進フォーラムは、2004 年以来、日本 OSS 推進フォーラム、中国 OSS 推進連盟及び韓国 OSS 推進フォーラムが協調し、各国における OSS の普及・発展に向けた活動を行っています。今回は、沖縄県那覇市で開催された会合に続く第 12 回会合であり、各国の産・官関係者からの講演、ワーキンググループ（WG）¹の活動報告、各国で選ばれた OSS 貢献者の共同表彰等が行われました。



今回の会合では、日中韓のフォーラム参加者が、各 WG から報告された成果と今後の計画に関する議論に基づき、次の合意を得ました。

¹ 北東アジア OSS 推進フォーラムには、①「WG1:技術開発・評価」②「WG2:人材育成」、③「WG3:標準化・認証研究」、④「WG4:適用推進」の 4 つのワーキンググループ（WG）が設置され、各 WG において専門的な議論が行われています。

- ・ OSS は、オープンなコミュニティの活動により推進され、また、日中韓の産学官の智恵、知識および経験を集成した推進活動により、今や無くてはならないものであるとの共通認識に至りました。
- ・ 今回が 10 年目となる節目に向け、4 つのワーキンググループによる北東アジア各国・地域の投資と人材により、世界の OSS コミュニティと産業との持続的な成長を実現するという、フォーラムのゴールを追求していくことを確認しました。
- ・ 本フォーラムの活動内容をどの様にしていくか、継続して検討して行きます。
- ・ 第 13 回北東アジア OSS 推進フォーラムは、2014 年に中国で開催します。

4 つの WG から報告された主な活動成果と今後の計画は、以下のとおりです。

I. WG1 : 技術開発・評価

- クラウドプロジェクトでは、日中 (JC) はクラウドインフラ上のビジネスや技術の交流、中韓 (CK) は SaaS 技術の交流、日韓 (JK) はビッグデータ領域で活動しました。
- 過去の活動の振り返りと今後の検討のためにホワイトペーパーを記述開始し、フォーラム・WG1 の歴史、日中韓政府の OSS 政策、および、過去の技術活動 (DB ベンチマークテスト、デスクトップ、セキュリティ、Cracker jack、OpenDRIM、クラウド) を説明していきます。
- 世界的な openstack プロジェクトと、テスト・プラットフォームの構築・統合を視野に協調していきます。
- クラウド、モバイルインターネット、IoT、ビッグデータ、スマートシティの分野で、OSS に関係した有望な技術の研究を継続していきます。

II. WG2 : 人材育成

- 2013 年は “NEA OSS Sample Curriculum 3.0” を開発しています。
- OSS の人材開発を推進するために、第 8 回日中韓 OSS 貢献賞と特別貢献者賞を授与しました。
- 日中韓の OSS 開発のパイオニアが、今回の北東アジア OSS 推進フォーラムにて OSS トレーニングキャンプの時間をとり、知識と経験を伝えました。
- OSS 人材育成強化のための教材・訓練・相互認証の共有と、OSS トレーニングキャンプ設立推進、および、マスタートレーニングキャンプのガイドラインを設定していきます。

III. WG3 : 標準化・認証研究

- 2011 年に “OSS 成熟度評価” を開始して以来、標準的な OSS 技術参照モデルと成熟度評価のための属性を提供することで、OSS の導入と普及に貢献してきました。

- OSS 成熟度評価タスクフォースが「 RepOSS 」という名前のリポジトリをリリースし、2012年にすべての加盟国でその商標を登録しました。
- OSS 採用の重要な要素としての適用性を理解し、OSS と商用ソフトの関連付けや比較する基本的な機能や、OSS の属性定量化のための計算式と評価項目の重みづけ指標を追加することにより、成熟度評価モデルを強化しました。
- 2013 年にビッグデータ・クラウド・モバイル市場に焦点を当て、本市場をリードしている 23 の OSS を評価しました。ウェブサイト・ RepOSS への掲載により OSS の選択を支援します。

IV. WG4 : 適用推進

- 北東アジア OSS エコシステムを確立するために、日中韓の間でパイロットプロジェクトを構築することに注力しており、市場調査を実施し、物流分野が昨年のパイロットプロジェクトの対象として選ばれました。
- パイロットプロジェクト構築と OSS 普及促進のために、市場調査や実務経験を共有しています。
- 日中韓の OSS 関連企業が互いの製品や技術を共有し、パートナーなどを見つけるためのマーケティングプラットフォームとして、日中韓の OSS 企業ディレクトリのウェブサイトが公開されました。
- 日中韓の企業が開発した OSS の利用奨励と、OSS 市場の発展を推進していきます。

大会議長をつとめた韓国 OSS 推進フォーラムの高議長は、大会の最後に議長声明として、「全ての参加者が世界に広がる OSS コミュニティと価値を共有し、日中韓の政府・企業・教育機関や個人を含む各グループの偉大なる努力に大いに感謝します。フォーラムは、日中韓と他のアジア地域における IT 産業の成長をめざし、OSS 市場を拡大してきました。

ここに、OSS コミュニティのメンバーとして、オープンな世界を拡大し、豊かにすることを宣言します。」と表明し、本大会を締めくくりました。

本会合に引き続き 11 月 21 日（木）に、OSS 特別講演会（トレーニング・キャンプ）を開催しました。第 12 回北東アジア OSS 推進フォーラムへの日本、中国からの参加者のほか、韓国釜山市の学生・若手技術者などが引き続き講演会に参加し、世界最先端の技術を学ぶと共に国際的交流が深まりました。

<p>■ 本件に関するお問い合わせ先 日本 OSS 推進フォーラム E-mail: info@ossforum.jp</p>
--